

**公益財団法人長岡京市スポーツ協会**  
**第39回長岡京ガラシャロードレース『新型コロナウイルス感染症への対応方針』**

令和2年10月4日現在

主催者である本協会は、令和3年1月24日（日）に開催する第39回長岡京ガラシャロードレースについて、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本陸上競技連盟、京都府、長岡京市における感染拡大予防ガイドライン(9/1～)を遵守して開催します。

**【基本事項】**

1. 無観客開催とします。集合場所及びコースに立ち入ることができるのは、参加申込をされたランナー、競技役員及びコース沿道誘導員、会場周辺誘導員のみとします。
2. ランナー、競技役員及びコース沿道誘導員、会場周辺誘導員に下記の手続きを行うよう求めます。
  - 1) レース2週間前から検温及び体調管理を行い、前々日もしくは前日の午前9時から午後3時までに本協会へ体調管理表の事前提出を求めます。（レース前2週間に発熱及び新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状がある場合又は、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は当日の参加・従事を控えていただきます。）
  - 2) 当日受付時に検温を行います。（発熱等の症状がある場合は参加を控えていただきます。）
  - 3) レース終了後2週間は検温及び体調管理を行い、万が一、感染症疑いのある症状がある場合は管轄の保健所に報告し、本協会への報告を求めます。
3. 周囲の参加者と最低1m（できれば2m）の距離を空けるよう徹底します。
4. ランナー、競技役員及びコース沿道誘導員、会場周辺誘導員等の関係者は全員、マスク及びゴミ等を入れるビニール袋を必ず持参するよう求めます。また、他者とタオル、ドリンクの共有は行いません。ゴミは各自で持参したビニール袋に入れて、全て持ち帰るよう徹底します。
5. 一定時間ごとに手指の消毒、手洗い（せっけんで30秒以上）、洗顔等を行うよう徹底します。
6. レース開催前に接触確認アプリ(※)等のインストールを徹底します。
7. レース開催前後には、移動中や移動先における感染防止のための適切な行動を求めます。  
※レース後の打ち上げ等における感染リスクのある行動の回避など

**※接触確認アプリ等**

①京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス（こことろ）

不特定多数の人が集まる施設やイベントを対象にスマートフォンアプリ「こことろ」による位置情報サービスを利用し、感染者との接触の可能性がある利用者に、メールで保健所への相談を促す等注意喚起 <https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/coronakinkyurenaku.html>

②新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）

スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用し、お互いが分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触（1m以内15分以上）した可能性について通知 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

ランナーの皆様へ

## 第39回長岡京ガラシャロードレース 競技に係る注意事項

令和2年10月4日現在

『新型コロナウイルス感染症への対応方針』の〈基本事項〉を遵守の上、下記の内容について、必ず目を通し、同意の上で申し込みを行うこと。

### 〈レース2週間前まで〉

- 1) ①ナンバーカード ②計測タグ ③プログラム ④受付場所及び時間等のお知らせ  
⑤体調管理表(事前提出用) ⑥体調管理表(事後管理用)の書類の受取及び確認をすること。

### 〈レース2週間前から前日まで〉

- 1) レース2週間前からレース前日まで、毎日検温及び体調確認を行い、体調管理表(事前提出用)に記入すること。
- 2) レース前々日もしくは前日の午前9時～午後3時までに体調管理表(事前提出用)を主催者までFAXかメールにて提出すること。なお、前日に体調管理表(事前提出用)の提出がないランナーはレースへの出場を認めない。
- 3) レース2週間前から前日までに感染症疑い症状の発症、PCR検査もしくは抗体検査で陽性反応、濃厚接触があった場合には主催者に報告し、出場を辞退すること。

### 〈来場時〉

- 1) レース当日に体調不良がある場合、出場を辞退すること。
- 2) 各個人でマスク、水分、タオル、ビニール袋を持参すること。
- 3) 車及びバイクでの来場は禁止します。徒歩もしくは自転車で来館すること。
- 4) 受付係にナンバーカードと計測タグを提示すること。係員が確認の上、検温を行いますが、発熱等の症状がある場合は出場を認めない。

### 〈会場内〉

- 1) スタート直前まで、できる限りマスクの着用をすること。
- 2) 一定時間ごとに手指の消毒、手洗い(せっけんで30秒以上)、洗顔を行うこと。
- 3) 他の参加者やスタッフとの距離を1m、できれば2m確保すること。会話をする場合は必ずマスクを着用すること。
- 4) 大きな声での会話は行わないこと。
- 5) 感染予防の観点から、西山公園体育館及び多世代ふれあい交流センター内での着替えをすることはできない。(トイレの利用のみ可能)
- 6) 関係者以外は会場及びコース上の立ち入りを禁止します。

### 〈走る前〉

- 1) スタート等については係員の指示に従うこと。

- 2) ランナーは主催者が用意するナンバーカードを必ず着用すること。(スタート誘導、コース誘導、タイム計測を正確に行うために、ナンバーカードは必ず見えるように胸側に付けること。ナンバーカードの上に服を着ることは禁止。)
- 3) ランナーの走行中の同伴は一切できない。ただし、伴走者を必要とするランナーは、主催者の許可を受けて伴走者を付けることができる。
- 4) 走行中の疾病は、応急処置のみ行い、主催者はその後の責任を一切負わない。
- 5) 貴重品は各自で管理すること。
- 6) スタート直前までマスクの着用をすること。(来場時・アップ時を含む)
- 7) 運動中に唾や痰を吐く行為は極力行わないこと。

#### 〈走っている途中〉

- 1) 制限時間はスタートから55分とする。午前10時55分を過ぎた時点で走行を中止し、係員の指示に従って後尾車へ乗ること。
- 2) 道路の左側を走り、コースでの安全に心掛け、警察官やコース沿道誘導員の指示に従うこと。  
(レース中、緊急車両等の通行により走者を停止させ、車両の通行を優先させる処置をとる場合があります。)
- 3) 走行中、身体に異常を感じた時は、直ちに中止し、後尾車へ乗ること。
- 4) 途中棄権の際は計測タグを近くの係員に渡すこと。(途中で折り返してゴールすると、誤った記録が計測されるため。)

#### 〈走った後〉

- 1) 当日の記録証の発行及び表彰式は行わない。なお、記録証及び表彰物は、後日郵送とする。
- 2) ゴール後は速やかに会場から離れ、帰宅すること。
- 3) 飲みきれなかったスポーツドリンクなどは各自で持ち帰ること。

#### 〈レース後2週間〉

- 1) ランナーはレース後2週間、体調管理表(事後管理用)に記入し、体調管理を行うこと。  
ただし、感染症の疑いのある症状が4日以上続く場合は必ず管轄の保健所に報告し、主催者に報告すること。
- 2) 体調管理表(事後管理用)はレース後1か月間を目安に保管し、その後各自で廃棄すること。